



# Close up だて



## — アロニアが可愛くて成長が楽しみなんです —

伊達市シルバー人材センター  
なかむらしげお  
**中村茂夫さん**  
(山下町)



6月頃、可憐に咲くアロニアの花



花とはイメージの違う実 深みのある紅色

**ア**ロニア」。生活習慣病の予防に効果の高いアントシアニンが多く、その成分が眼精疲労に効果があるとされている果実。旧大滝村（現大滝区）では、寒さに強く、北海道の気候条件に適したこの作物に注目、平成13年度から、村をあげて栽培に取り組み、合併を経て、栽培のノウハウが旧伊達市に浸透していきました。

中でも大規模な栽培を行っているのは、公益社団法人伊達市シルバー人材センター。同法人では国からの指導などで、これまでの高齢者の就業機会確保に加え、「自主事業」への取り組みを強化し、その事業の一つとしてのアロニアの栽培を中村茂夫さんから会員5名が担当しています。

中村さんが栽培に携わったのは平成20年春。「スタートは若生町

での100本。畑を整えながら木を増やし、現在では約千200本のアロニアを栽培しています」

校庭よりも大きな畑で、下草刈りや樹木の手入れ、果実の収穫作業をしています。中村さんは、周りの人の支えがあつてこそ大変謙虚な様子です。

栽培を始めてまだわずか数年なので収穫量が安定せず、新たな特産品として十分にPRできていないことには不満も。でも「やっとうで、果実も年々大きくなり、収穫量も増え始めています」と今後への期待をのぞかせます。

「人が手を掛けただけ健やかに育つ。今はそれが嬉しい」と中村さん。穏やかな表情の中に熱い思いで取り組まれている姿が印象的でした。

### 表紙のはなし

10月11日、「就学予定児童健康診断」が保健センターで行われました。来年4月に小学生になる子どもたちが、歯科検診・視力検査・身体検査など体験したことのない検査を慣れないながらもひとつこなします。

歯科検診では、日頃の歯磨きの成果を見てもらいたくて大きく口を開ける子どもの姿が微笑ましく感じられました。



### 楽画記

■今月は「アロニア」。大滝特産のイメージが強く、伊達地区でここまでの栽培は驚き！！ご商売の農業者以外にも趣味で楽しむ一般市民の方も。実は私の母もひっそりと…母曰く「薬で飲むと目に良い」（じ）

■ここ数年女子率が高い我が係に、男子のインターンシップ生がやって来ました。彼らが取材した内容は「まちの話題」に掲載しています。初々しくて新鮮な文章をぜひご一読ください。（や）

■10月23日は「霜降」。「しもふり」ではなく「そうこう」。寒くなってきた職場でたまたま目にした霜が降り始める時期を指すこの言葉。雪と寒さが押し寄せる冬への気構えが必要な40代の私に準備に取り掛かるきっかけとなりました。（と）

■10月17、18日に職業体験をさせていただきました。実際に取材に行ったり、広報の記事を書いたりしました。ずっと緊張していましたが、皆さんとても優しく来てよかったです。工事中の市民プールへ取材や、市役所内の見学など貴重な体験をしました。皆さんありがとうございました！！（こ）

■秋から、冬に変わろうとしているなか、ぼくは、職業体験をさせていただいています。普段では、なかなか、教えてもらえないことや体験できないことが体験でき、嬉しいです。この、経験を生かし、今後の生活に役立てようとおもいます。（は）